

本社・周辺 分会

第10期活動テーマ

「相互理解」と「働き方の見直し」を進め
「納得感」が高い職場風土を作って行こう!

第10期前半(2022年10月～2023年9月)

重点取り組み

分会全体

スタッフ部門ならではの職場のコミュニケーション改善・業務改善についての課題抽出及び必要に応じた打ち手の実施をしていきます。

チーム

職場毎の課題をリーダーを中心に仮説を立て解決に向けてチームで検証し、労使会議に繋げていきます。

※本社周辺分会は最大規模の分会のため、今期も執行委員をリーダーとしたチームを作り、分会全体とともにチーム単位での活動を進めます。

活動目標・具体的アクション

VOICEサイクル (現場活動)

「コミュニケーションの在り方の好事例共有」や「違う職場同士の認知を深める」ことで兼任役員の知見を広げ各々のチームの課題を抽出し労使に繋げる

【全体】

- ・広報紹介・職場委員会にて、分会軸の「職場内コミュニケーション」「業務改革」の改善にむけた観点における、他所属の事例の共有や意見交換を行う。
- ・メンバーの安心感向上といち早く職場問題を察知し顕在化させるためにメンター活動の普及を行う。そのため先んじて行っている新宿分会と連携を図り、活動の周知と、役員が傾聴(メンター)について学べる機会をつくる。

【チーム】

- ・各チーム内においても、「コミュニケーション」「業務改善」の2軸をベースにチーム内の課題の仮説を立て、改善に向けたVOICEサイクルを行う。

経営対策

中期経営計画の中で示されているスタッフの人員の考え方の中での「働き方のチェック」と「業務改善の進捗」を把握し経営に伝えられる状況をつくる

- ①各チームにおいては、現場活動で顕在化した課題改善に向けて、半期に一度のVOICEサイクルの「(経営に)伝える」活動を行う。
- ②分会全体では機関会議や分会での職場委員会にて「業務改善」の進捗や好事例を確認し、支部の経営対策担当に繋ぐ。

広報活動

「労使会議の内容共有」「コミュニケーション・業務改善の好事例共有」「労務知識の啓発」を図ることで組合役員やメンバーが解決に向け取り組める土壌を作る

- ①分会の組合兼任役員同士におけるTeamsでの情報共有体制の強化。
(強化ポイント：専従が全分会役員の職場取材&役員Teamsへアップし、役員同士の他所属認知を深め、相互のコミュニケーション向上に繋げる)
- ②メンバーに向けてはVOICEサイクルの「知らせる」活動として、他所属認知や相互のコミュニケーションを高めるために、好事例共有・経営対策報告などを広報物として発刊する。

